

### 町の補助事業を継続する6団体



**老人料理クラブ**  
**地域の高齢者が参加する昼食作り**  
 地域の料理名人を講師に、生活習慣病予防にも気を配りながら、地元食材を活用した郷土料理作りを年12回開催しました。



**上毛龍神太鼓**  
**和太鼓を通して地域に元気と活力を**  
 中央公民館支館を練習場所として活用しながら、町内外のイベントなどで演奏を披露しました。



**こうげ音楽倶楽部**  
**地域参加型の音楽活動を通じ、地域の活性化を図る**  
 自主企画のほか出張演奏も行い、地域内外の方が音楽を通して気軽に交流する機会を創りました。



**コスモちょぼら会**  
**集落を越えた清掃活動とその推進啓発**  
 前年度の課題を中心に、活動のPRと会員増を心がけながら、定期的な美化活動に取り組みました。



**原井婦人会**  
**地域のきずなづくりを目指す**  
 地域の果樹や農作物による加工品の試作を重ねながら、史跡・文化・環境についての活動にも取り組みました。



**成恒子ども神楽愛好会**  
**地域の伝統を子どもたちに継承しながら健全育成を図る**  
 町内外の奉納神楽やイベントで演舞を披露し、子ども達も経験を積みながら成長し、成恒神楽の継承が進められました。

### 地域づくり活動事業成果発表会

## 8団体が平成26年度の活動成果とこれからの意気込みを発表



7年目を迎えた地域づくり活動事業の成果発表会が、3月15日(日)に中央公民館支館で開催されました。発表会は、10分の制限時間内に活動成果と今後の計画を盛りこみ、地域づくり活動の趣旨にふさわしいかどうかなどを審査するものです。審査員には昨年引き続き、ふくおかNPOセンター理事長の古賀桃子さんをお招きしたほか、地域づくり協議会役員と各団体の代表者の方々など18名を迎えました。

3年間の補助期間を終えた集大成を発表したのは、「唐原子供神楽」と「巣狩谷グリーンツーリズム研究会」の2団体で、これからの活躍に期待が寄せられます。また27年度も補助事業に取り組む6団体からは、26年度の成果と次年度の取り組みに向けた発表があり、審査の結果、6団体の活動計画はすべて承認されました。

古賀さんからは、「前回よりも団体同士の連携ができ、持ちつ持たれつの関係が構築されてきている。こうした横の繋がりにより、地域づくり活動の本当の意義が見えてくる」と講評をいただきました。また、地域づくり協議会の山下会長から、団体間の協力・連携に向けた取り組みと協議会による支援について会場全体に呼びかけられ、実り多い発表会となりました。



■ 昼食は、ゆいきらさんから塩むすび、にぐい、野草入りの卵焼きなどを、吉岡交流会さんから手づくりのケーキや和菓子を用意していただきました。

### 町の補助事業を卒業した2団体



**唐原子供神楽**  
**神楽の伝統を次世代に継承し、発展させ、町内外に発信**  
 26回の公演を行い、新たに入会した子どもも地元貴船神社で奉納神楽デビューを果たしました。



**巣狩谷グリーンツーリズム研究会**  
**地域資源を活かした都市との交流で、地域を活性化**  
 農家民泊のリピーターが増え、ライブや野草ビザパーティーの定期開催のほか、巣狩山登山プログラムを開催しました。